

さかい家

- 物件名：さかい家（木造部分 喫茶）
くりや（石蔵部分）
サンフレスコ（ヴェネツィアンガラス）
- 住所：堺町4-4
- 電話：29-0105
- 所有者：奥野株式会社
- 運営：さかい家
赤澤妙子（店長）
- 主任と人員：6人
- 建物履歴：
 - 明治40年 久保商店（洋物・小間物店）創建
 - 大正13年 犬島商会（損害保険業）
 - 昭和60年 さかい家 平成4年都市景観賞受賞
 - 平成4年 小樽市都市景観賞
 - 平成5年 小樽市歴史的建造物指定



外観

■外観

- ①軒看板
和風の商家に相応しい屋根付きの軒看板は新たに増設。
- ②石蔵扉
石蔵の扉は重厚さを活かして現代風のシルバーに。

■内観

- ①天井の電気配線
昭和30年頃までの電気配線は、電信柱のように露出した「碍子引配線（がいしびきはいせん）」で、絶縁体の瀬戸でつなぎ止めていた。これが引っかけたり触れたりすると危険なことから、次第に天井裏に隠すようになっていく。しかし昭和60年に新たにあって配置。まさに昭和前期の優れた再利用。
- ②柱・梁・床板
そのまま再利用しているが、床のワックスがけはこまめにされている。床は3度貼りかえている。
- ③個室
右奥には保険業受付のカウンターを活かし、個室スペースを確保（もとは玄関入口）。
- ④二重窓
不特定多数が入る喫茶店なので、冬の寒さを防ぐため従来の窓枠と同じデザインで内側に二重窓をはめ込んだ粋な再利用。
- ⑤大金庫
残されていた大金庫（大正13年犬島商会使用のもの）を店内のディスプレイとし、上部に商家特有の神棚を配置。
- ⑥石蔵の漆喰扉
以前には喫茶部の裏にも石蔵があり、漆喰扉をそのままリメイクして再利用。



軒看板にも年季が



階段もディスプレイ棚に

■内容

仁木の赤澤妙子・廣子姉妹が小樽散策をなにげなしにした時、姉妹同時に目に焼き付いた建物が当物件。ここで和風喫茶と即座に決まり開業。

■コンセプト

センスを大切に生け花も週一で取り替え、いつも「待っていてくれる」雰囲気発信。この姉妹の経営姿勢がベースとなり空間や和の雰囲気を楽しむお客様を呼び込んでいる。

■客層

地元のファンはもとより、小樽の観光施設では最もリピーター率が高い。



赤澤妙子氏

さかい家



癒やしの空間



碍子引き配線を生かす



石蔵の扉もディスプレイ



大金庫もディスプレイ



保険会社のカウンターを個室に



防寒のため同一デザインの二重窓



石蔵ギャラリー

